



2010年9月14日
在日米国商工会議所

ACCJ 2010 東京チャリティー・ウォークソン」開催 天候にも恵まれ およそ360人が参加

在日米国商工会議所（ACCJ）は、9月12日（日）に2回目となる「ACCJ 2010 東京チャリティー・ウォークソン」を開催。昨年の参加者のおよそ3倍の約360名が芝公園に集合し、公園の周囲2キロを歩きました。

ACCJ会頭のトーマス・ウィットソンは、「（芝公園は）とても素敵な公園で、これだけの人々が集まって下さったことをとても嬉しく思っています。私たちが支援している団体も、きっと喜んでくれるでしょう。」と述べました。

チャリティー・ウォークソンとは、歩くことでチャリティーに参加できるイベントです。今年は、40社（2010年9月14日現在）にも及ぶスポンサー企業からの協賛、および12月に開催予定のチャリティー・ボールからの寄付金を合わせた収益金が、東京イングリッシュ・ライフライン、青少年福祉センター、ホームレスのためのACCJ牧野昭次郎基金の3団体に寄付されます。

ACCJスペシャル・イベント委員長のバリー・バーグマンは、「全てのスポンサーの方々、特にアフラック、シティグループに感謝を申し上げます。」と述べました。

ウォークソンはACCJ中部支部から始まり、中部支部では今年で19年目を迎えました。また、関西支部では、10月16日（土）に「働く女性のための環境改善」をテーマに第5回「ACCJ 関西・チャリティーウォーク&ファン・フェスティバル」を神戸メリケンパークにて開催を予定しています。

以上



同イベントの高画質写真をご用意しています。
お問い合わせ下さい。



###

1011 J

—在日米国商工会議所について—

在日米国商工会議所（ACCJ）は、米国企業40社により1948年に設立された日本で最大の外資系経済団体です。米国企業の日本における経営者を中心に、現在は約1000社を代表する会員で構成され、東京、名古屋、大阪に事務所を置いています。日米両国政府や経済団体等との協力関係の下、「日米の経済関係の更なる進展、米国企業および会員活動の支援、そして、日本における国際的なビジネス環境の強化」というミッションの実現に向けた活動を展開しています。また、60以上の業界・分野別委員会を中心に活動を行い、意見書やパブリック・コメント、白書等を通じた政策提言や、政策や経済の動向等について年間500以上のイベントやセミナーを開催するとともに、各種チャリティー等の企業の社会的責任（CSR）活動にも積極的に取り組んでいます。

【お問い合わせ】

同件に関するお問い合わせは、在日米国商工会議所 広報担当 野田由比子（電話：03-3433-6542; メール: ynoda@accj.or.jp）までお願い致します。